

## 小樽市経済動向調査結果

1. 調査期間：2025年4月から6月
2. 調査対象：小樽市内の企業262社
3. 内 訳：製造業56、卸売業27、小売業42、運輸・倉庫業20、観光業45  
サービス業39、建設業33
4. 回答企業数：152社（58.0%）
5. 調査方法：調査票によるアンケート

※DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは・・・

好転（増加）企業割合から悪化（減少）企業割合を差し引いた値のことで、この数値がプラスかマイナスか、そしてその大きさによって景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

### 概 況

—業況DI、売上DIはプラス水準であったが採算DIはマイナスに転じ、約4割の企業で従業員不足—  
前年同期（2024年4月～6月）と比べた今期（2025年4月～6月）の状況  
今期と比べた来期（2025年7月～9月）の予想

全業種における企業の景況感を示す業況判断DIは5.0で、前年同期比で2.4ポイント上昇しました。主要3項目の業況DIは12期連続、売上DIは13期連続でプラス水準で推移しましたが、採算DIは3期ぶりにマイナスに転じました。また、卸売業を除く全ての業種で、経営上の問題点の上位3位までに、「従業員確保難」を挙げており、回答企業の41.4%で従業員が不足しています。

来期は、業況DI、売上DI、採算DIの主要3項目全ての低下が予想されています。

製造業では、売上DIが前年同期比6.7ポイント低下の0.0、採算DIは同35.5ポイント低下の▲22.6でマイナスに転じました。業況DIは同23.0ポイント低下の▲9.7ポイントとなりマイナスに転じました。

卸売業では、売上DIが同7.1ポイント低下の▲13.4、採算DIは同24.7ポイント上昇の▲6.6、業況DIは同25.5ポイント上昇し6.7となりプラスに転じました。売上単価DIについては同35.8ポイントと大幅に低下し26.7となりました。

小売業では、売上DIが同21.7ポイント低下の0.0、採算DIは同54.4ポイント低下の▲35.6でマイナスに転じました。業況DIは同34.0ポイント低下の▲15.8となりマイナスに転じました。在庫数量DIについては同24.2ポイント低下し▲10.5となりマイナスに転じました。

運輸・倉庫業では、売上DIが同47.4ポイント上昇の27.4でプラスに転じました。採算DIは同39.9ポイント上昇の26.6でプラスに転じました。業況DIは同26.6ポイント上昇の26.6となりプラスに転じました。在庫量DI、出庫量DI、保管残高DI、すべての項目で50.0ポイント以上の大幅な上昇となりました。

観光業では、売上DIが同12.4ポイント上昇の24.2、採算DIは同2.4ポイント上昇の▲3.5、業況DIは同2.4ポイント低下の3.5となりました。

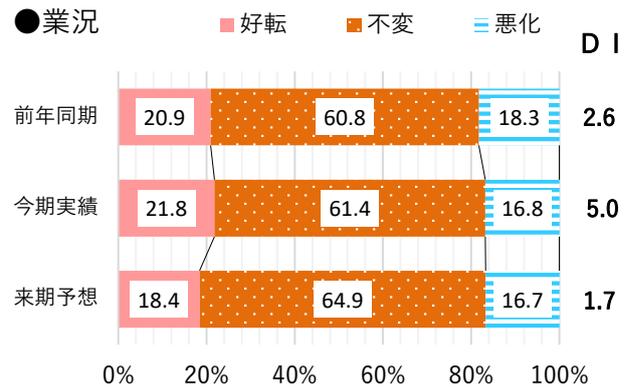
サービス業では、売上DIが同28.9ポイント上昇の48.0、採算DIは同33.0ポイント上昇の28.0となりプラスに転じました。業況DIは同24.0ポイント上昇の24.0となりプラスに転じました。利用客数DIについては同51.0ポイントの大幅な上昇で、32.0ポイントとなりプラスに転じました。

建設業では、売上DIが同3.2ポイント低下の5.5、採算DIは同6.3ポイント上昇の▲11.1、業況DIは前年同期と比べ変化はなく、0.0ポイントとなりました。

業況、売上、採算

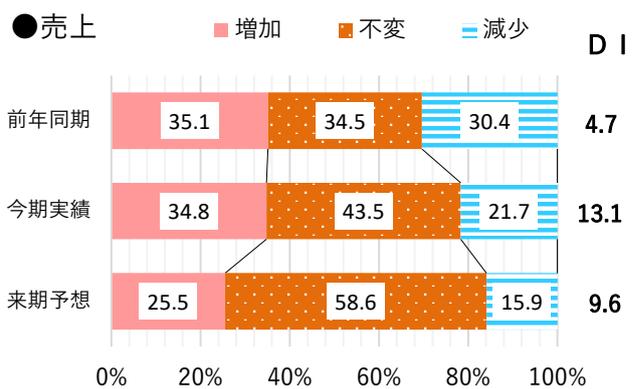
今期（2025.4～6）の業況判断DIは5.0で、前年同期（2024.4～6）と比べ2.4ポイント上昇しました。

来期（2025.7～9）の業況DIは今期（2024.4～6）と比べ3.3ポイント低下すると予想しています。



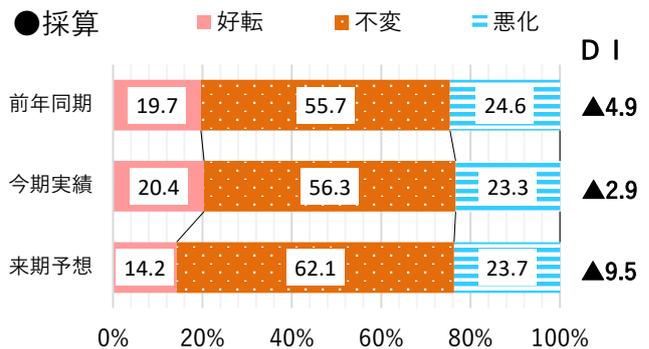
今期の売上DIは13.1で、前年同期と比べ8.4ポイント上昇しました。

来期の売上DIは今期と比べ3.5ポイント低下すると予想しています。

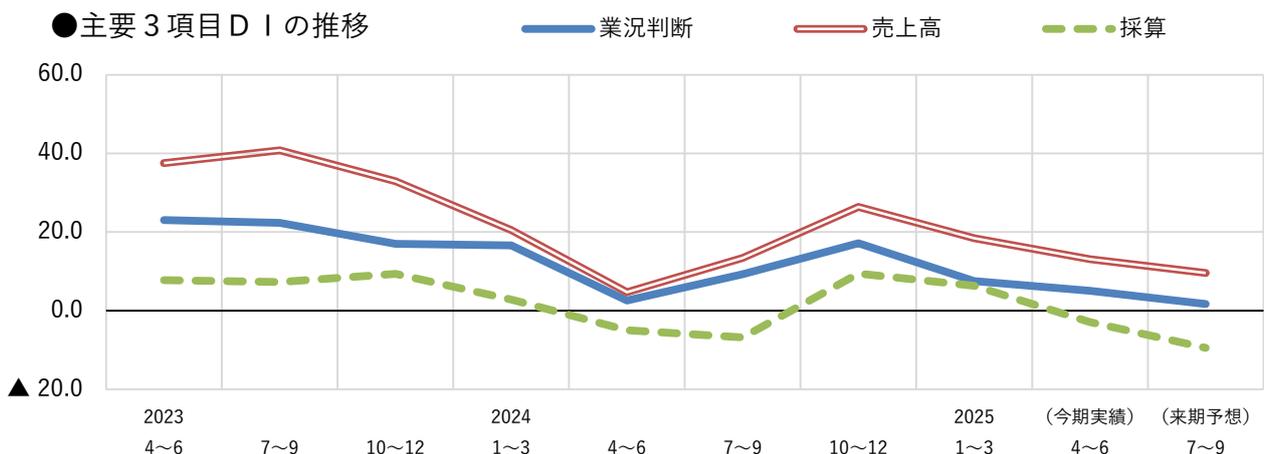


今期の採算DIは▲2.9で、前年同期と比べ2.0ポイント上昇しました。

来期の採算DIは今期と比べ6.6ポイント低下すると予想しています。



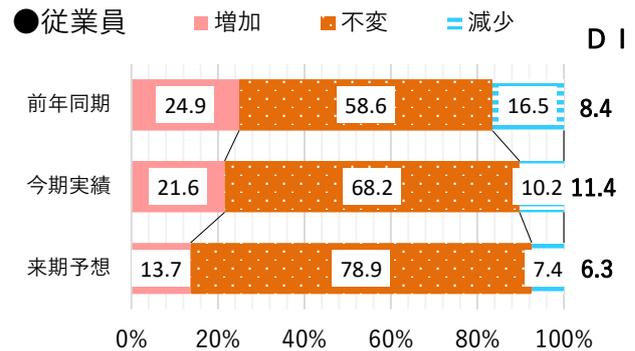
●主要3項目DIの推移



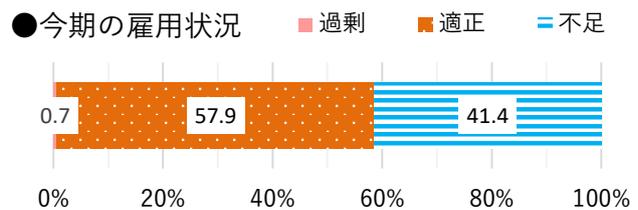
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは11.4で、前年同期と比べ3.0ポイント上昇しました。

来期の従業員DIは今期と比べ5.1ポイント低下すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は0.7%、適正であると回答した企業の割合は57.9%、不足していると回答した企業の割合は41.4%でした。



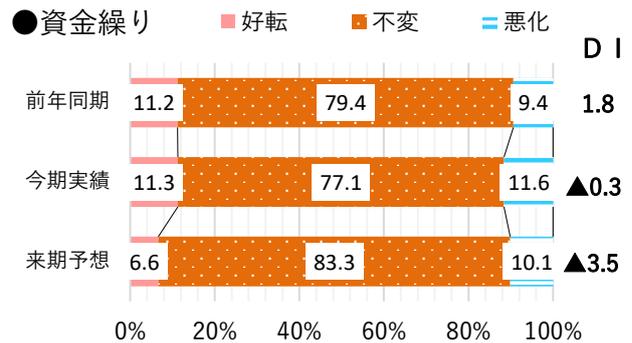
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、43.4%を占めました。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	18
	不足	16
不変だった	過剰	0
	適正	66
	不足	36
減少した	過剰	1
	適正	4
	不足	11

資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは▲0.3で、前年同期と比べ2.1ポイント低下しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ3.2ポイント低下すると予想しています。



今期の設備投資は、43.4%が実施と回答し、前年同期と比べ0.2%上昇しました。

投資内容は、1位が「車両運搬具・輸送機材」、2位が「OA機器」、3位が「付帯施設」「建物」(同位)の順です。

来期は36.8%が設備投資を計画していると回答しています。

